

令和5年度地域包括ケア推進協議会

第2回医療・介護連携部会

R6.3.12（火） 19：00～20：30

長崎市役所15階中会議室

地域包括ケアシステム推進室

長崎版地域包括ケアシステム 構築推進に関する連携協定の締結 (H28.3月)

連携・協力事項

- (1) 在宅医療・介護連携の推進に関する事項
- (2) 認知症対策の推進に関する事項
- (3) 介護予防・健康づくりの推進に関する事項
- (4) 地域づくりへの支援に関する事項
- (5) その他、本協定の目的を達成するために必要と認める事項

団体構成

- ・長崎市医師会 ・長崎市歯科医師会 ・長崎市薬剤師会 ・長崎県看護協会
 - ・長崎市介護支援専門員連絡協議会 ・長崎市老人福祉施設協議会
 - ・長崎県理学療法士協会 ・長崎県作業療法士会 ・長崎県栄養士会
 - ・長崎県弁護士会 ・長崎市訪問看護ステーション連絡協議会 ・長崎市
- (順不同)

地域包括支援センターエリアを単位とした 多職種チーム化

目的：多職種の顔の見える関係づくり・ネットワークの構築
地域の課題解決や地域づくり



主な取り組み内容

- 地域ケア会議への参加
- 地域活動への支援
- 住民への普及啓発
- 専門職向け研修



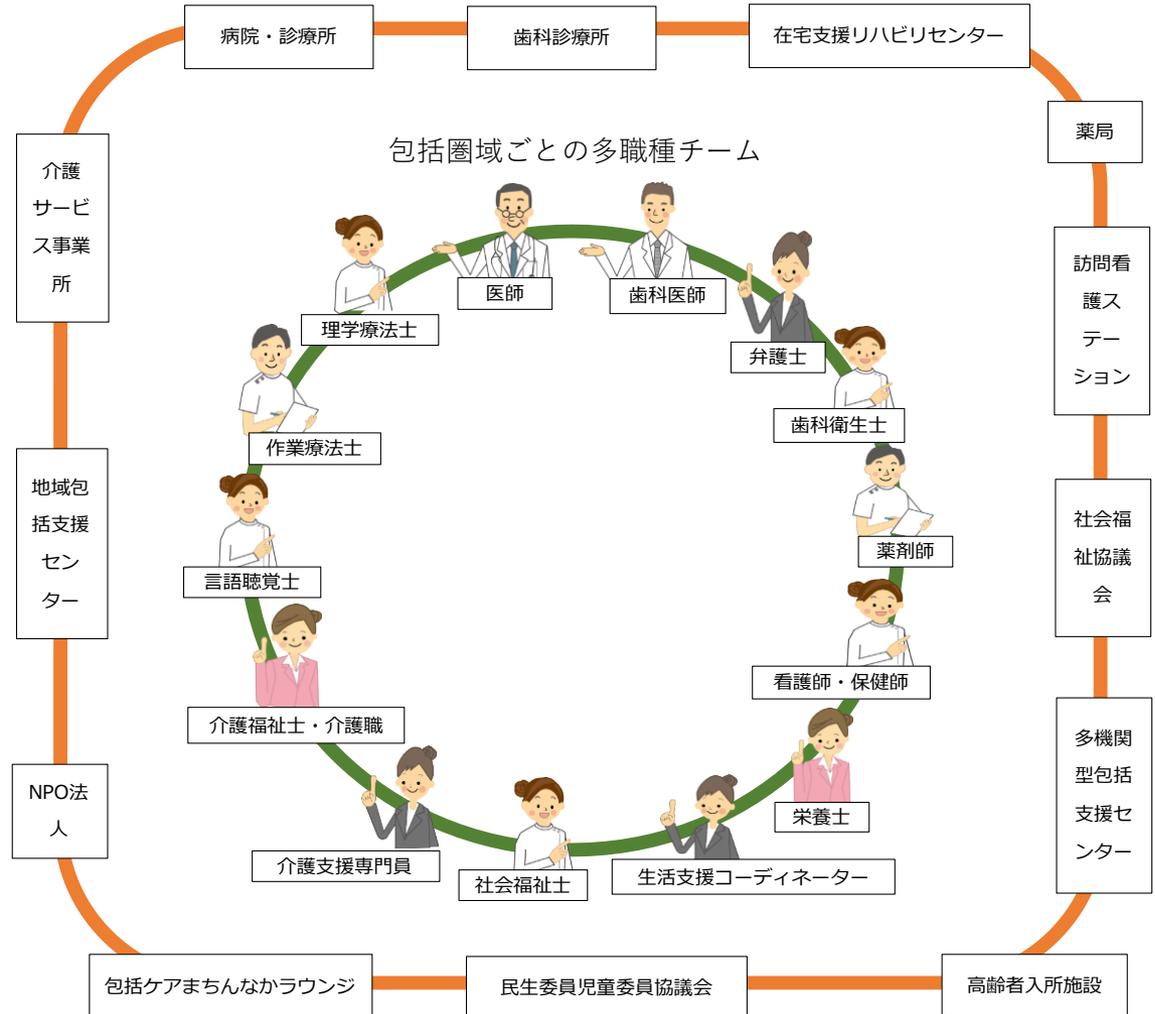
多職種チーム化の登録状況

R6.3.5現在

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
医師	100	159	162	162	162	149	157
歯科医師	36	36	43	43	59	67	72
薬局	195	199	200	199	200	181	176
主任介護支援専門員	111	141	175	175	156	166	166
老人福祉施設協議会	46	48	48	48	47	47	46
訪問看護ステーション	30	32	34	34	34	33	35
栄養士	25	25	27	27	28	27	27
看護協会	3	3	3	3			
弁護士会	7	7	7	7			

多職種チーム化の方向性

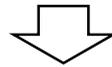
- これまでの地域包括支援センターを中心とした多職種チーム化の取組みを継続しながら、連携協定締結団体以外との関連団体や事業所との連携や協働の取組みを進める



多職種チーム化の名簿について

<これまで>

地域包括ケアシステムの基盤づくりとして、各団体の多職種チーム化協力者名簿を当室へ提出していただき、包括ごとに名簿を提供



包括は、提供された名簿を元に、活動に必要な職種や事業所をプラス

現在では、圏域内の多職種や事業所の名簿を独自に作成



<今後>

各団体の多職種チーム化協力者名簿を作成し、包括の求めに応じて直接提供

地域意見交換会について

	H28年度		H30年度		R4・5年度	
開催数	3地区		4地区		8地区	
講話内容	長崎版地域包括ケアシステムの構築に向けた長崎市の取組み	長崎市	2025年に向けた長崎市における医療・介護の方向性	長崎市	元気なうちから手帳について	長崎市
	長崎版地域包括ケアシステムの構築に向けた医師会の取組み	医師会	住み慣れた町で、最期まで自分らしく暮らす 在宅医療と多職種連携、地域ケア会議、ACPの重要性	医師会	長崎市医師会版わたしの思いについて	医師会
	認知症対策	医師会	認知症対策	医師会	ACPIについて 救急医の立場から	医師会
					救急現場におけるDNAR対応	長崎市消防局
GW	地域を支え連携できる関係づくりとして、それぞれの立場でできる連携		医療と介護の連携（自分達に求められる役割）		それぞれの職種が取り組むACP	
参加者数	地域包括支援センター	54人	地域包括支援センター	57人	地域包括支援センター	48人
	医療機関	115人	医師	94人	医師	70人
	主任介護支援専門員	52人	主任介護支援専門員	88人	主任介護支援専門員	57人
			歯科医師	27人	歯科医師	25人
			薬剤師	26人	薬剤師	70人
			訪問看護師	21人	訪問看護師	15人
			在宅支援リハビリセンター	27人	在宅支援リハビリセンター	36人
				栄養士	9人	